

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和2年12月18日（金）
午後1時30分から午後3時21分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

(1) 各チームの現況報告について

ICTチーム長 片岡議員：委員会の録画放映について、12月定例会からは録画したものを実際に（YouTubeに）アップロードしている。12月8日に開催された総務・産業建設常任委員会は既に公開されている。議会だより等でもPRしていく。各議員においてもぜひ周知してほしい。それから、簡易な連絡事項は紙をやめてメールで送っているところだが、特に意見が寄せられないので、不都合はないものと認識している。今後、さらに増やしていきたい。LINE WORKSはICTチーム内で、1月いっぱいまで試用してみて、1月の本協議会で皆さんに報告したい。スケジュールの共有や日程調整もできるので、有効に使っていきたい。

鬼頭会長：紙媒体での配付を無くせるようであれば無くしていきたいと思う。もう少し様子を見たい。

BCPチーム長 大野議員：議会BCPが完成したので、ご確認願いたい。

鬼頭会長：案が完成したので、後ほど、協議する。

市民参加チーム長 宮川議員：一昨日、チーム会議を開催した。コロナ禍で子ども議会（の企画）は実質ストップしているので、それに代わるアイデアを募った。50周年記念の冠があるので、51周年の前日までを期間と捉えて実施できるもの。3つの案が出たので、後ほど協議事項で発案者から説明する。

(2) その他

特になし。

9 協議事項

(1) 議会改革の推進及び検討事項の進捗状況について

総務・産業建設常任委員会委員長 関戸議員：計10回程の協議会を開催して政策提言について協議してきた。設置場所によって自転車駐輪場間での過度な偏りが課題となっている、放置自転車対策事業について提言するこ

とに決した。内容は配付した案のとおり。

大野議員：生涯学習センター北側の駐車場が最も駅に近く、駅に近い所が混む。駅に近くないところは混んでいない。そのことも含めて検討したか。
総務・産業建設常任委員会委員長 関戸議員：現地調査もしており、当然に承知している。

木村議員：来年度の予算編成が厳しい中で、今の時期にどうしても提言すべきか。

総務・産業建設常任委員会委員長 関戸議員：絶対とは考えていない。

大野議員：駐車場内の放置自転車の台数は調べたのか。

総務・産業建設常任委員会委員 片岡議員：調べてある。半年間で40台程度であり、さほど多くはない。問題は先ほど委員長からも説明したとおり、過度な偏りがあること。それを分散させるための提言。

井上議員：駅とは岩倉駅のことか。石仏駅では、夜間になっても置いてある自転車は、夜勤の人や、近隣の学校に通う学生が朝に使用し夕刻に置いて帰宅する場合もある。そのことは配慮して数えたのか。

総務・産業建設常任委員会委員 片岡議員：ご存知かどうかわからないが、定期的に札をつけてチェックをしている。その札が取られていれば、放置自転車ではない。札が何か月も付いたまま置いてある自転車を放置自転車とみなして対応しているものである。

梅村議員：決算状況はわかるか。

総務・産業建設常任委員会委員 片岡議員：去年は約500台で10,000千円程度かかっている。1台当たりの撤去費用1,000円を妥当と思わない。近隣市町では、名古屋市が3,500円に設定している。

梅村議員：10,000千円の内訳はわかるか。

総務産業建設常任委員会委員 片岡議員：手元に資料がないのでわからない。

梅村議員：駐車台数の過度な偏りと、放置された自転車があることが課題とあるが、もう少し踏み込んで、過度な偏りがあると何が問題か説明を。

総務・産業建設常任委員会委員 宮川議員：駅に近いほど密になり、朝は急いでいて自転車を突っ込んでいく傾向がある。人の自転車をどかして、無理矢理に停めていく人もいて、歩行の妨げとなっていたりする状況。お金を掛けて施設整備したり、遠くの駐車場のほうに付加価値をつけたりする案も出たが、具体策は出なかった。時間帯が限られているのでマンパワーでやっていくのがいいという結論。それから、駐車場のいくつかは水路の上に設けられており、構造物を設置することはできないことにも考慮が必要。

梅村議員：自転車台数の過度な偏りは、放置自転車と関係があるか。

総務・産業建設常任委員会委員 片岡議員：駅周辺では、後から来た人にちゃんと停めてあった自転車をどかされてしまって、放置自転車と見なされてしまう問題が発生している。

梅村議員：放置自転車撤去費用の値上げの必要性は。

宮川議員：名古屋市が金額を上げ、コマーシャルしているが、岩倉市も名古屋市のコマーシャルに乗りたい。市民へのアピールになる。

梅村議員：アピールは良いが、放置自転車が減らないと意味がない。

総務・産業建設常任委員会委員 片岡議員：他市町の状況も見て、金額を上げることで抑止効果があると考えた。

梅村議員：近隣との比較はしないのか。値上げするところなる、というところまで示せないか。

総務産業建設常任委員会委員 片岡議員：近隣市町の状況は確認した。近隣も1,000円前後。しかし、近年の実績を見るとそこまで減っていないので、目標はゼロにすることなので、大胆に変更して意識を高めてもらうという意味が強い。

梅村議員：整理作業等従事者の増員の必要性の有無を検討すること、と提言しているが、どうしてこのような提案になったのか。今の体制で何が問題となっているのか説明を。

総務・産業建設常任委員会委員 片岡議員：駐車場内に放置されている自転車をチェックするスパンだが、順番を決めて市内の駐車場を廻っているようで、最大で3～4か月開いている。このため最大で3～4か月放置されてしまう可能性がある。条例では駐車場内に3日放置されていたら移動できるのに、それが出来ていないのは人員が足りないから。条例上の3日を守れていない点が問題と考える。また、偏り解消のための施策を打った時には、声掛け等をする人員が必要になる。

梅村議員：きっかけは放置自転車対策に予算をかけ過ぎではないか、という点から始まっているが、予算が増えていく提案になっているのはどうかという気もする。また、答えていただいた内容も出来るだけ提言書に書いたほうが良いと思う。

総務・産業建設常任委員会委員 宮川議員：前回の協議会は、総務部長はじめ執行機関が離席せず、自主的に残って話を聞いていたので、趣旨はご理解いただいていると思う。誰が読んでもわかりやすいように文章は工夫したい。

梅村議員：サイクルスタンドやライン表示することで人件費の抑制に繋がるのでは。また検討してほしい。

大野議員：放置自転車を最終的に売却するが、それをもっと高く売るとい

ことは考えなかったのか。

総務・産業建設常任委員会委員 宮川議員：以前、決算の審議でも話があったが、中古車として販売できるものと、鉄くずとなるものがある。期間を置きすぎては、錆びてしまって鉄くずにならざるを得ない。単価もかなり差がある。赤字が補填できるほどではないかもしれないが、(チェックの) 周期を早くすることで、売り払い単価アップには繋がると思う。

鬼頭会長：今の意見を反映しながら、もう少し内容をわかりやすくすると良いと思う。

総務・産業建設常任委員会委員長 関戸議員：そのようにする。今後の流れについて確認だが、総務・産業建設常任委員会で協議し、再度この協議会でお示しをして、その後は。

議長 梅村議員：政策提言に関する要綱を作成中なので何とも言えないが、今日のように全員での協議の場に提示していただいたのは良いと思う。最終的に提言は委員会総意のものなので、委員会がこれでいくと決定したならそれでいいし、もう一度、協議会で全員の意見を聞きたいということであればそれでもいい。

総務・産業建設常任委員会委員長 関戸議員：総務・産業建設常任委員会を開催して、また報告する。

(2) ふれあいトークの開催について

鬼頭会長：例年実施している議会報告会及びサポーターとの意見交換会だが、3月定例会直前の議会報告会の開催が難しいと思われる。

大野議員：来てもらっても良いし、同時にオンラインで行っている議会もあるようだ。

宮川議員：一堂に会したり、リアルタイムで実施するだけが全てではない。予算案に対して意見を求めることが目的なので、パブコメのイメージで、(予算案を) 提示して、委員会審査までにまとめられる位の期間でご意見を募集する。を設けるという手法も実施の余地があると考えます。

鬼頭会長：梅村議員からも資料が出ている。来年度当初は新規事業が少なくなるようなので、ホームページで意見を募集していくのはどうかと。もしくは大野議員が提案したようなハイブリッド形式か。

宮川議員：限られた数のメンバーならハイブリッド形式も可能だが、人数が多いほど一人当たりの発言時間は短くなるし、大型モニターもない。パブコメ形式のほうが時間的制約もなく、若者や女性層も意見を出しやすいと期待できるので、良いと思う。

片岡議員：周知方法が重要。

鬼頭会長：議会だより 2月号であれば掲載が間に合う。

片岡議員：各議員も積極的に周知することが必要だと思う。手法としては賛成。一度やってみるべきだと思う。

鬼頭会長：例年のような議会報告会に代えて、ホームページ上で意見を募集するという手法でよろしいか。

堀議員：手法は賛成だが、新規事業がなかった場合にどうするか考えておいたほうがいいのでは。

鬼頭会長：新規事業は市制 50 周年関連があるだろうから、そこにコロナ関連のものを取り入れていくのも一案。

大野議員：今議論しても仕方がない。来月で。

鬼頭会長：今日お話ししたのは、今でないと 2月の議会だより掲載に間に合わないため。

宮川議員：予算をどう使うか、優先順位をどうするかということよりも、コロナ禍で困っていること等、もう少し大枠で意見を聞くのもいいと思う。それであれば早めに大枠となるテーマを決めたほうが、議会だよりも書きやすい。

黒川議員：賛成。

広報委員会委員長 木村議員：どこに載せるかが重要になるが、そこは広報委員会にご一任いただきたい。

鬼頭会長：現時点では漠とした内容の記事しか出せないと思うが、広報委員会で検討して掲載してほしい。

榎谷議員：全員協議会は 2月 16日なのか。

梅村議員：まだ草案段階だが、16日 が濃厚。全協で説明されてからホームページに掲載するまでにあまり日数を取れないので大変であるということが言いたい。ある程度、誰かに事業抽出の作業は任せることになり得る。また意見募集期間も実際のパブリックコメントのように 1か月も設けることはできないので、2週間程度。

黒川議員：掲載する事業の抽出は、正副委員長だけではなくて正副会長と正副議長も一緒をお願いしたい。

鬼頭会長：今回はこの方式で実施することとする。次に、サポーターとの意見交換会はどうか。1月末か 2月最初に 1日日程を取って午前・午後の 2部制でどうか。日程は後日決める。PTA連絡協議会は連絡待ち。

(3) ふれあいトーク記録書について

11月 14日分について、下線部 2か所を訂正してホームページに掲載する。

(4) 「市議会サポーターの声」について

鬼頭会長：回答は議会運営委員会で作成をお願い。その後、中心になって取り組んでいきたいという議員はいるか。

黒川議員：どちらもまずは担当委員会で調査研究を行うことがいいのでは。

鬼頭会長：「(仮称) 思いやり条例」は厚生・文教常任委員会、「交通安全都市宣言」は総務・産業建設常任委員会の所管となる。

(5) 岩倉市議会政策提言の実施に関する要綱について

鬼頭会長：市の例規担当に見てもらった。下線部が変更箇所である。

梅村議員：政策提案か政策提言かの議論が残っていたが、過去の実績を踏まえると、提言は提案に含まれると解釈でき、そのようにこれからも実施する前提で第2条の書きぶりになった。第3条の「課題の解決を図ること」は条例の表現を使用した。

堀議員：第3条の書き出しに違和感がないか。「市政における課題を解決することを必要とする政策課題」ではないか。

水野議員：「課題」が(1文に)2回出てくるので違和感がある。「市制において解決を図ることを必要とする政策課題」でどうか。

木村議員：条例の文言をそのまま引用しなければならないわけではないので、「市制において解決を必要とする政策課題」で伝わらないか。

(発言する者あり)

木村議員：もっと平易な表現はあると思うが、相談したうえで作成したのなら、全く読み取れないこともないので結構だ。

鬼頭会長：正副議長にご一任いただくことでいいか。次回、最終案を示す。

(6) 議会BCPについて

BCPチーム長 大野議員：災害用伝言ダイヤルの訓練を行いたい。16頁の行動基準表は大事。最後に可児市議会のものを真似て作成した各フロー図を掲載した。BCPの勉強会は別途開催する必要がある。

鬼頭会長：読むのが大変だと思うが、各自で目を通して、意見があれば言ってほしい。

BCPチーム長 大野議員：誤字脱字がないかよく見てほしい。

榊谷議員：フロー図に「可児市議会」と記載されている箇所がある。

(7) 議会基本条例検証に係る検証シートについて

鬼頭会長：議会事務局長より改善案が2パターン提出された。過去の取組実績記載欄が追加されて、比較検討がしやすくなった。また、評価を記載す

る欄が追加された。案1では「条例改正の有無」欄が、案2では「評価理由」欄が設けられている。

宮川議員：条例改正の有無は全ての項目に関係するわけではないので、必要があれば課題・今後の取組に記載すればいい。

鬼頭会長：「評価理由」欄があるパターンを採用することでいいか。

梅村議員：評価理由を項毎に記載するのは難しい。

木村議員：取組実績を書けば、評価の理由も出てくると思うので、特記事項を書き込めるスペースにしてはどうか。

鬼頭会長：「評価理由」はやめて「特記事項」欄にするという提案。

(異議なし)

梅村議員：見直しに至った経緯は、今回から議会サポーターに検証を見てもらうため、分かりやすく意見しやすい書式にしたかった。

(8) 市制50周年記念事業について

市民参加チーム 関戸議員：講演会を開催してはどうか。橋本徹氏、東国原英夫氏、中部大学武田邦彦教授等の案が出た。

市民参加チーム 井上議員：女性議会を開催してはどうか。江南市が2月1日に執行機関主催で開催した。朝9時から午後3時まで議場で開催され、応募した8名が30分ずつ話をし、執行機関が答えていた。大勢の傍聴者が来ていた。準備は大変そうだが、議会に興味や関心を持ってもらう機会になると思う。

市民参加チーム 榊谷議員：40周年の時のように、議場コンサートを開催してはどうか。密にならないよう二重奏にして、動画も配信する。

市民参加チーム長 宮川議員：議会が主催する以上は、議会に興味を持ってもらうような企画であることが前提。コンサートもジュニアオーケストラにお願いすることで父兄らが議会に来てくれる。また、総合体育文化センターでコンサートと議会講演会を組み合わせで開催する等も含めて議論したい。

大野議員：そもそも50周年用に予算はつくのか。

梅村議員：当初予算にはない。

水野議員：組み合わせではどうか。講演会の中休みにコンサートを開催する企画に参加したことがある。

市民参加チーム長 宮川議員：例えばコンサートだと、執行機関が年間のスケジュールを組んでいるので、その一部を議会事業に振り分けることは可能だと担当課からは聞いている。

木村議員：コロナ禍での企画は難しい。コロナ対策は必ず押さえておかない

といけない。それから女性議会だが、女性に限定せずに犬山市のようなフリースピーチがいいのでは。

鬼頭会長：もう少し検討が必要。予算が必要なものはやはり難しいので、できるだけゼロ予算でできるといい。

市民参加チーム長 宮川議員：来年の12月1日に固執せず、再来年の春先など余裕を持って考えても良い。

(9) その他

鬼頭会長：今後、政治倫理条例改正を検討したいと思う。

10 その他

次回は1月20日午後1時30分